

まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート【令和4年度決算】

【地方創生推進交付金 事業実施評価書】

事業名	①ふるさと教育による南あわじ市「学ぶ楽しさ日本一」プロジェクト	新・継・拡の別	継続	補・単の別	補	総合戦略上の位置付け	基本目標	I 地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち
事業の目的	学校・家庭・地域が連携しながら学ぶ楽しさを感じ、追及する教育を推進することで、子どもたちの知識・技能や思考力・判断力・表現力を伸ばし、人と関わる力・やり抜く力・学びに向かう力・人間性を培っていく。							II 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち
対象者(ターゲット)	<input checked="" type="checkbox"/> ①子ども	<input checked="" type="checkbox"/> ③子育て世代					III 魅力と味力があふれるまち(ふるさと)	
事業の概要	【概要】 先進的な経験や地域との関わりを通じてふるさと意識を醸成する「アフタースクール」、伝統文化を生かした「コアカリキュラム」、日本を代表するアスリート等との交流「夢プロジェクト」、夏休みを活用したサマースクール「山の学園」などを実施するとともに、市内離島への「離島留学制度」の構築を図る。					令和4年度実績に対する主管課自己評価	IV 子育てしやすいまち	
KPI	KPI① 社会増(10歳～19歳) KPI② アフタースクール参加人数に占める学童対象外の子どもの比率 KPI③ 授業実施前後に行うアンケートでのふるさとを愛する児童生徒の割合の伸び率							○
KPI①(下段実績)	現状 -28人	R2年度 -28人	R3年度 -21人	R4年度 -14人	R5年度 -7人		達成状況	A 目標達成に向けて概ね順調
KPI②(下段実績)	30%	32%	35%	38%	41%			
KPI③(下段実績)	20%	30%	40%	50%	60%			
事業期間	令和2年度～令和6年度							
総事業費(一般財源)	187,143千円	(94,572千円)					
事業費内訳		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	事業費	12,613	29,560	36,930	54,330	53,710		
	特定財源	6,306	14,780	17,465	27,165	26,855		
	一般財源	6,307	14,780	19,465	27,165	26,855		
取組実績及び事業費(令和4年度事業費)	【コアカリキュラム】 総事業費：1,803千円 淡路人形浄瑠璃を核にした小中学校9年間の教育実践に取り組むもの。 【スクールチャレンジ】 総事業費：6,090千円 各学校がそれぞれの課題や特色に応じて、主体的に独自の切り口で課題解決に取り組むもの。 【離島留学】 総事業費：9,524千円 離島留学を推進するため、沼島での特色ある教育(ICTを活用した遠隔教育、交流事業等)と指導体制を図るもの。 【アフタースクール事業】 総事業費：17,056千円 放課後にすべての児童を対象に、地域人材等を活用し、多種多様な体験プログラムを提供するもの。 【夢プロジェクト事業】 総事業費：2,457千円 著名なスポーツ選手・文化人を講師として招き、スポーツや文化の魅力、夢をもつ大切さを学ぶ機会を提供する。						総合戦略検証委員会による外部評価	アフタースクール事業について、子どもたちに平等に機会が与えられるよう、開設校区を確実に増やしていただいたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート【令和4年度決算】

【地方創生推進交付金 事業実施評価書】

事業名	②南あわじ発「人生100年時代の働き方改革」プロジェクト						新・継・孤の別	継続	補・単の別	単	総合戦略上の位置付け	基本目標	I 地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち					
事業の目的	高齢者の方々がいつまでも健康で仕事や社会貢献活動を継続することにより、現役で活躍し続ける社会の実現をめざす。												○ II 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち	III 魅力と味力があふれるまち（ふるさと）	IV 子育てしやすいまち			
対象者（ターゲット）	<input checked="" type="checkbox"/> ④シニア世代						<input type="checkbox"/>						達成状況	A	目標達成に向けて概ね順調			
事業の概要	【概要】 人手不足にある事業者で働きたい意欲のある高齢者が活躍できるようにするための取組を、今後3年間かけて実施し、高齢者雇用の基盤を構築する。						令和4年度実績に対する主管課自己評価						シニア世代の方々の多様な活躍の場の創出と参画を促進するため、令和4年度は、市民セミナー（2回）や事業者セミナー（3回）の開催に加え、ポスターやリーフレットなど広報啓発物を作成するなど、市内全域に普及促進を行った。 その結果、KPIは概ね目標を上回った。 ・本事業を通して新規就労した高齢者数25人（目標10人） ・就労を動機付けするセミナーの受講人数130人（目標100人） ・高齢人材の活用を促進するセミナーの受講企業数19社（目標15社）					
KPI	KPI① 本事業へ的高齢者等の活動登録者数 KPI② 就労を動機付けするセミナーの受講人数 KPI③ 高齢人材の活用を促進するセミナーの受講企業数 KPI④ シニア層（60歳代以上）の人口流入増加数（住民基本台帳移動報告）												高齢者の就労の場の開拓に向けて、市内の事業所20社（前年度32社）への訪問、各種団体への説明を行い、高齢者の雇用創出を働きかけた結果、モデル事業者は新たに10社（前年度11社）増加するなど、高齢者雇用を推進した。					
KPI①（下段実績）	現状	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度							—	10人	10人	15人	15人	15人
KPI②（下段実績）	—	29	25人										—	100人	100人	110人	120人	130人
KPI③（下段実績）	—	184人	130人										—	15社	15社	20社	20社	25社
KPI④（下段実績）	—	40社	19人										—	15人	15人	20人	20人	20人
事業期間	令和3年度～令和5年度																	
総事業費（一般財源）	25,000千円（12,500千円）																	
事業費内訳	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度												
	事業費	8,000	8,500	8,500														
	特定財源	4,000	4,250	4,250														
	一般財源	4,000	4,250	4,250														
取組実績及び事業費（令和4年度事業費）	・企業と高齢者の意識改革事業（業務委託費）8,500千円（内訳） (1) 企業の意識改革セミナー開催費 2,000千円 (2) 企業との勉強会、高齢者への仕事の情報提供の場の設置 3,500千円 (3) 高齢者の意識改革セミナー開催費 2,000千円 (4) 広報啓発資料（リーフレット、ポスター等）の作成費 1,000千円						総合戦略検証委員会による外部評価		働く意欲のあるシニア世代の方は多いため引き続き、働く機会の創出に取り組んでほしい									

まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート【令和4年度決算】

【地方創生推進交付金 事業実施評価書】

事業名	③世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業						新・継・拡の別	継続	補・単の別	単	総合戦略上の位置付け	令和4年度実績に対する主管課自己評価	基本目標 I 地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち II 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち III 魅力と味力があふれるまち(ふるさと) IV 子育てしやすいまち 施策目標 地域資源(渦潮)の保全と関心・愛着をもった人づくり 達成状況 A 目標達成に向けて概ね順調 1:グルメ商品開発 ワークショップの実施によるうずの幸グルメのブラッシュアップ及びお披露目の開催、うずの幸の認知度向上に向けたパンフレットやPR用ポップの制作を行った。南あわじ市の販売実績としては、19店舗が参加し、17,168食を販売し、販売金額は406,231千円となった。 2:プロモーション業務 うずしおぐるぐる公式ホームページにおける情報発信や滞在観光を推進するため、南あわじ市・鳴門市周遊観光パンフレット「Cross TRIP」の制作、じゃらんネットでの観光プロモーション、インスタグラムハッシュタグキャンペーンの実施を行った。 3:事業者向け情報発信研修会 スマホでの料理写真の撮り方講座、インスタグラム活用講座を実施、それぞれ35人が参加した。 4:うずの幸マイスター うずしおエリアの魅力を訪者に伝える「うずの幸マイスター」を育成するための資料として、鯛・淡路島3年とらふぐなど「海の幸」について学ぶ動画を作成した。 5:大鳴門橋周辺地域の交通体系基本計画策定 大鳴門橋周辺地域の現在の交通混雑緩和や将来の交通需要に対応するために、基本方針を定め、課題解決に向けて想定される施策を整理した計画を策定した。
事業の目的	世界最大級の『鳴門の渦潮』を核とした観光エリアのブランディングを行い、これまで通過型の観光地であった鳴門・南あわじ両市において、若者や外国人観光客の誘客増加を図るとともに、長期滞在型の観光を誘発させることにより、観光消費額、ひいては宿泊単価率を上昇させる。また地域の観光事業者とともに商品開発を行い、稼ぐ仕組みを作り出すことにより、持続可能な地域づくりを目指す。												
対象者(ターゲット)	☑ ⑥地域		☑ ⑦来訪者										
事業の概要	【概要】 鳴門市と南あわじ市だけが持つ『鳴門の渦潮』の存在を核とし、『グルメ開発(商品開発)』、『自然を生かした体験(若者向けコンテンツ)の創出』、『宿泊サービス向上』を3本柱と位置づけ、各事業者のレベル向上、共通プロモーション等を展開する。												
KPI	KPI① 南あわじ市・鳴門市が新たに作成・達成を行った商品・サービスの売上高 KPI② 南あわじ市・鳴門市の宿泊施設における宿泊単価上昇率												
KPI①(下段実績)	現状	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度							
KPI②(下段実績)	—	—	406,231千円	40,000千円									
KPI③(下段実績)	—	—	5%	10%									
KPI④(下段実績)	—	—	0.08										
事業期間	令和3年度～令和5年度												
総事業費(一般財源)	143,640千円(71,821千円)												
事業費内訳	年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度							
	事業費	45,586	54,054	44,000									
	特定財源	22,792	27,027	22,000									
	一般財源	22,794	27,027	22,000									
取組実績及び事業費(令和4年度事業費)	【委託費】54,054千円(鳴門市と折半) 【委託先】株式会社リクルート 【事業内容】 1. グルメ商品開発 2. プロモーション業務 3. 事業者向け情報発信研修会 4. うずの幸マイスター 【委託先】株式会社地域計画建築研究所 大阪事務所 5. 大鳴門橋周辺地域の交通体系基本計画策定										総合戦略検証委員会による外部評価	現在の取組みが継続して行える仕組みが必要と考える。	

まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート【令和4年度決算】

【地方創生推進交付金 事業実施評価書】

事業名	④はじまりの島淡路島観光推進プロジェクト						新・種・振の別	新規	補・単の別	単	総合戦略上の位置付け	基本目標	I 地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち	
事業の目的	兵庫県及び淡路島3市、民間団体等が密接に連携・協力し、観光資源の磨き上げを行うことにより、交流人口の拡大や、淡路島の「食」・「モノ」のブランド化等による農林水産業や商工業の振興、新たな雇用創出、UJIターンの増加などを促進することで、人口減少・超高齢化に対応する地域の持続的成長を目指す。												II 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち	III 魅力と味力があふれるまち(ふるさと)
対象者(ターゲット)	☑ ⑥地域			☑ ⑦来訪者							達成状況	A	目標達成に向けて概ね順調	
事業の概要	【概要】 淡路島観光戦略会議の設置や淡路島総合観光戦略の策定のほか、大規模イベントと連携した誘客プロモーション等を実施する。 [戦略的な観光推進体制の整備]、[淡路島総合観光戦略の策定]、[大阪・関西万博等連携推進事業]、[ヘルスツーリズム推進事業]、[サイクリングアイランド淡路の推進]、[「国生みの島」淡路島日本遺産の推進]											【事業実績】 淡路島観光戦略会議が設置され、戦略会議を中心に新たな淡路島総合観光戦略が策定された。 兵庫デスティネーションキャンペーンブレキャンパンとの連携、ヘルスツーリズムのファミトリップ等が実施され、淡路島への誘客が促進された。		
KPI	KPI① 新たに追加した観光関連のコンテンツ・旅行商品・サービス数(増加件数) KPI② SNS・ホームページアクセス数(増加件数) KPI③ 観光客満足度(増加割合) KPI④ 観光入込客数										令和4年度実績に対する主管課自己評価	【自己評価】 新たな観光関連のコンテンツは兵庫デスティネーションキャンペーンに合わせて3件作成された。 ①大迫力!スーパーうずしお見学!更に8日間限定でDC特別企画 サンセットクルージングを設定!～船上生演奏付き・優雅でロマンチックなひとときを～ ②明石海峡大橋の主塔塔頂体験とクルージング～岩屋港ブランド生しらす丼付～ ③イングランドの丘 試食・お土産券付き!淡路島玉ねぎオリジナルドレスリング作り体験!食べて学んで体験～淡路島玉ねぎのおいしさに迫る～ 観光客満足度では、調査結果として1.5%増となっている。 観光入込客数については、コロナ禍であった8,024千人から119%増の9,569千人となっている。		
KPI①(下段実績)	現状	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度								
KPI②(下段実績)	0件	3件	5件	5件	7件	7件								
KPI③(下段実績)	90.10%	0.40%	0.50%	0.50%	1.00%	1.00%								
KPI④(下段実績)	8,024千人	400千人	600千人	700千人	750千人	550千人								
事業期間	令和4年度～令和8年度													
総事業費(一般財源)	35,000千円(17,500千円)													
事業費内訳	年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度								
	事業費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000								
	特定財源	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500								
	一般財源	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500								
取組実績及び事業費(令和4年度事業費)	[戦略的な観光推進体制の整備] 12,700千円 [淡路島総合観光戦略の策定] 5,400千円 [大阪・関西万博等連携推進事業] 4,400千円 [ヘルスツーリズム推進事業] 5,000千円 [サイクリングアイランド淡路の推進] 3,000千円 [「国生みの島」淡路島日本遺産の推進] 4,800千円 総事業費 35,300千円 ※うち南あわじ市交付金対象経費 7,000千円、交付金額3,500千円										総合戦略検証委員会による外部評価		観光客の増加による交通事故増加等のリスクが考えられる。そういったリスクの面も踏まえて事業の推進を図ってみたい。	

まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業評価シート【令和4年度決算】

【地方創生拠点整備交付金 事業実施評価書】

事業名	⑤大鳴門橋周辺交通拠点施設整備事業						新規・拡の別	新規	補・単の別	単	総合戦略上の位置付け	基本目標	I 地域ぐるみで支えあい、笑顔がたえないまち			
事業の目的	大鳴門橋周辺地域は、世界遺産登録を目指す「鳴門海峡の渦潮」を有し、本市を訪れる観光客の約2割が本地域を訪れるなど、観光・交流人口の拡大による地域活性化を目指す本市にとって非常に重要な地域となっている。本事業で大鳴門橋周辺地域内に交通拠点となる施設を整備することにより、より一層各観光施設への交通利便性が高まる。さらには、近隣府県等からの来訪者が増加する。加えて、同施設において地域特産品の消費を拡大することにより、地域の活性化を実現する。												II 働く場を得て、ずっと住み続けたいまち	III 魅力と味力があふれるまち(ふるさと)	IV 子育てしやすいまち	
対象者(ターゲット)	☑ ⑥地域			☑ ⑦来訪者							達成状況	A	目標達成に向けて概ね順調			
事業の概要	【概要】 公共交通等を利用して来訪する観光客の受け入れ及び周遊観光を促すためのハブ機能(①ターミナル機能、②ガイドダンス機能【観光案内等】、③おもてなし機能【飲食店・休憩スペース】)を備える大鳴門橋周辺交通拠点施設を整備する。											大鳴門橋周辺拠点施設の建築工事は、順調に進められた結果、令和5年3月4日に竣工を迎えることができた。完成した待合所は、屋根に本市特産の淡路瓦、トイレには地元企業のマジョリカタイルを使用。さらに外観には兵庫県産の木材を使用した。また待合所の前には、芝生広場が広がり、そこからは鳴門海峡の大パノラマが楽しめる施設となった。 施設完成前に募集した愛称には、市民より161人より323点もの多くの応募があり、「うずまちテラス」に決定。 指定管理者である株式会社うずのくに南あわじにより、オープン前によりSNSやテレビなどを上手く活用し情報発信を行った結果、新しい施設にも関わらず、既に大勢の観光客が訪れる人気施設となっている。				
KPI	KPI① 施設来場者数 KPI② バス発着回数 KPI③ 飲食店等売上額										令和4年度実績に対する主管課自己評価					
KPI①(下段実績)	現状	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
KPI②(下段実績)	現状	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
KPI③(下段実績)	現状	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
KPI④(下段実績)	現状	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
事業期間	令和4年度～令和8年度															
総事業費(一般財源)	167,691千円(83,846千円)															
事業費内訳	年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度										
	事業費	167,691	—	—	—	—										
	特定財源	83,845	—	—	—	—										
	一般財源	83,846	—	—	—	—										
取組実績及び事業費(令和4年度事業費)	<p>○待合所及び付帯施設(延床面積428.98㎡)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事 166,850千円・・・① ・電気設備 31,244千円 ・機械設備 32,406千円 <p>合計 230,500千円 うち、建築工事のみ対象経費</p> <p>○その他設備(展望テラスなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 73,730千円 ・サイネージ 841千円・・・② <p>合計 74,571千円 うち、サイネージのみ対象経費</p> <p>(①+②) 事業費 167,691千円</p>												総合戦略検証委員会による外部評価		来場者が順調に推移しているため、再整備を進めている道の駅と合わせて、地域の活性化につながる取組みに期待したい。	

